

平成26年度 第1回四街道市立小中学校学区審議会記録

日時：平成26年5月13日（火）14時～

場所：青少年育成センター2階会議室

出席委員：14名

水野会長、久保木副会長、菊地委員、古川委員、梅山委員、清水委員、堀田委員、渡辺委員、長谷委員、橋口委員、長谷川委員、荒川委員、野本委員、田中委員

欠席委員：1名

坂東委員

出席事務局職員：9名（教育長、他公務のため途中退席）

高橋教育長、高野教育部長、佐久間教育部次長、上野教育総務課長、中嶋学務課長  
牛玖教育総務課副主幹、安江学務課主幹、山田学務課指導主事（受付）、  
米村学務課指導主事

（全体進行 中嶋学務課長）

- ・ 審議会委員委嘱状交付
- ・ 開会、教育長挨拶
- ・ 委員紹介、事務局員職員紹介、資料確認、会議の公開・傍聴人（2名）について

水野会長 まず審議会次第第4項目答申案検討について、事務局から改めて説明をお願いいたします。

安江主幹 前回平成25年度第1回審議会では、南小学校及び八木原小学校の通学区域について諮問いたしました。諮問の理由は資料のページ及び前回議事録に記してありますのでご参照ください。そちらには現状説明を委員の皆様のご意見ご質問に答える形で進めさせていただいております。前回の会議を基に諮問に対する答申案の作成を進めていただくということでよろしく願います。

水野会長 前回、それぞれの意見が委員の皆様方から出ましたし、時間も近づいていたものですから、保護者のアンケート等も委員会の方から配られているので、今度の会議まではよく読んでいただきたい、と解散をしたという風に覚えております。そういうわけで今日の審議の進め方ですが、方針案を出すには意見交換がまだまだ必要あるかなと思っております。その意見をそれぞれ交換

する立場についても、皆様方にご存知というか自覚していると思いますが、立場としては子どもが勉強していくのに一番良い環境、教育の仕方については先生方に頼みますので、子どもたちが勉強するのにどういう風にしていったら良いのかを考えていくのが、私たちのポイントではないかなと思います。その立場に立って皆様方、意見交換をしていただきたいと思います。いろいろ私の方でも良く知らないこともありますし、事務局から伝えていただければいけないような質問等も出ると思いますので、わからない時は事務局に質問していただくかなという風に思っております。

それでは、前の審議から今日まで2ヵ月ちょっとあったと思います。いろいろと細かいことも出てきたと思いますので、この場でそのようなことを出していただければ有難いと思っております。よろしくお願ひします。

清水委員 確認をさせていただきたいのですが、前回の会議では案の通り学区が変わる場合、在學生は対象とならない。新入学の方からである。それが来年度になるか再来年度になるかまだ決まっていない。ということでよろしかったでしょうか。あと確かその時に、では南小に上の子が通っているのに、新入学の下の子はどうなるんだ、ということが挙がり、これは次の時にも議論しなければというようなお話が出たと思うのですが、そういう認識でよろしかったでしょうか。

水野会長 それで良いと思います。確かそうだったと思うのですが、今の在學生はそのままとなっていたと思います。兄弟がいたらどうするかはまだ決まっていなくて、審議で追及していく、という風になっていたかと思います。もし学区編制し直すならば、ということですね。

清水委員 学区編制になって、もねの里2丁目が特に変わるとなった場合、お子さんを持つ親の立場として、お子さん自身もそうかもしれませんが、兄弟が別の学校に通うことに対してはやはり納得がいかないという意見がほとんどです。今日、この審議会ですの辺をしっかりと話し合っただけならなと思います。実際、兄は南小に通っていて弟は八木原小です、という風な場合、運動会みたいなのは別に行かなければならないですし、どうして別々なのかという説明が子どもにつかない。だから子どものためということを考えても、そこは何かの措置が必要ではあるというのが一点。ではそうになりました、となった時に地域の方から、うちの周りの子は皆上の子が南小に行っていて、新小学校1年生のうちの子だけがぽつんと一人だけ八木原小に行かなければならないのか、という声は何件かあります。そうすると小学校1年生で八木原小に

通わなければいけない子がいて、周りにも同じくらいの子がいるけど、皆お兄ちゃんお姉ちゃんがいるからその子は南小、でも自分の子だけがぼつんと一人だけ八木原小、ということになる可能性もあるが、それはどうするのかという意見もあった。安易に上の子が南小に在学中だから下の子もそのまま一緒に南小です、そうじゃない子は八木原小です、と一括してしまうと困るお子さんも実際にいるということです。ちょっと頭に入れていただいた上で、皆さんにご意見いただければと思います。以上です。

水野会長 清水委員から、そうしたことも頭の中に入れてご意見を、という要望がありました。学区は指定されることにはなりますが、まだこうだという風には決まってははいないと思います。もし学区編制をするなら、どこからどこまでをどの学区とするのか、というのをこの中で話し合うことだと思います。審議の中でやりたいと思います。よろしくお願いします。

堀田委員 私も清水さんが言われたことと似た内容になるのですが、学区再編をするかしないかをまずここで、ある程度方向を決めるところから始めるのですよね。

水野会長 実は私も再編するかしないかを決めないと話が續かないかとも思いましたが、まだ意見が出尽くしていなければ、学区編制をするかしないかを定める前に、こういう問題もある、こういうポイントがあると話に出してもらった方がいいかなとも思いました。今ここで再編するかしないかを決めた方がいいでしょうか。

久保木副会長 皆さんご存知のように、現在お子さんは南小に行っているわけですが、どんな形であろうと今の南小の敷地内に何人まで入れるかという限界はある。これ以上入ったら子どもがお互いにぶつかって怪我をする恐れもある。そういうのを総合的に見て皆さんで、さっきの上の子と下の子をどうするか、あるいは今後増え続けた時にどこで断ち切らなければいけないか、ということを実際に考えてもらいたい。それが後で出てくると先も見えてくるのではないかと考えます。皆さん、どうでしょうかね。例えば昨年の南小の運動会を見た方いますか。どうでしたか。

清水委員 私の子どもの時よりかは、空いているなと思いました、正直。

久保木副会長 空いているというのは運動場の中でのことですか。

清水委員 そうですね。まだ私の子どもの時の方がひどかった、というのが正直な感想です。

久保木副会長 その時はもうちょっと広くなかったですか。今の南小は狭くないですか。

清水委員 そうですね。でも私の子どもの時はもっと人数が多くてぎゅうぎゅうで、それでももっとひどい環境でやっていたんだな、というのが正直な思いです。

久保木副会長 そこなんですよ。広いところはそれでいいけれど、狭い学校の中でいかにどうするかを考える。それと併用してやってもらえると、その辺のウエイトの置き方が皆さんで納得できる部分が出てくると思います。それを検討してもらいたい。これもダメ、あれもダメでは決まりません。お子さんたちにいかに豊かに育っていけるか環境づくりを考えてもらいたい、ということです。そういうところから皆さんでいろんな意見を言ってその中で良いものを見つけていければいいのかな、という風に私は思います。よろしくお願いします。

堀田委員 再編するかしないかという前に、何かから決めないと何も決まらないのでは。

水野会長 もし再編となったとするならば、兄弟関係のことを考えていかないといけない。

堀田委員 すると、再編するという前提でお話を進めるということですか。

水野会長 これは、まだ審議がされていないのではないかなと思います。再編した方がいいのか、しない方がいいのか、もう少し意見をいただきたいなというところでは。

堀田委員 皆さんに意見を言ってもらってから進める、という形ですか。

久保木副会長 それからどちらの方向がいいか決める、その方が流れとしていいと思います。意見を出さないと会議が進まないですよ。

清水委員 一応現段階で最後に示されたのが、前回配られた「追加資料4」の案だと思うんですが、教育委員会の方から学区再編をしない場合・する場合における対応策案で、27年新一年生より学区再編をした場合、28年新一年生よりした場合というのが最後に示された案だと思います。教育委員会の案としてはこの案が

最終案ということによろしいのかということと、学区再編だけではなく学区再編＋多目的室改修＋仮設校舎増築と全部やることになってしまっていて、これはどうなっているのかという説明の時間もあまりなく配られて終わりだったので、その辺のところをもうちょっと詳しく説明していただきたい。急にこの案はポツと出てきた案のような気がして、今まで三つのどれかでやっていきますよ、と言っていた割には全部ミックスした案を出してきたのは、どういうことがあったのかお訊きしたいと思いました。

結局、学区再編するのであれば、もっと再編する案を広げて、仮設校舎を増築しないで学区再編をする、という方法が本当だったらお金もかからないし良いはずなのに、学区再編して反対意見が出るわお金をかけて仮設校舎を建てるわと、言っていることとやっていることがぐちゃぐちゃじゃないか、という感じがする案がこれでした。お金をかけないでやるのであれば、学区再編を2丁目3丁目と、これは例ですけどもっと幅を広げた学区再編にして、なるべくお金をかけないでやるという方法なのか、あるいはお金よりも今いる子どもを優先しましょうという考えで行くのか、どちらかにある程度絞られると思うのですが、この案はどちらもごっちゃになっているように思えます。

久保木副会長 今いる人をどうするか、というのを主に考えた方がいいのでは、ということでしょうか。

清水委員 そうですね、比較的方向性として学区再編のメリットを考えると、お金を使わないということですよ。そのメリットを優先して学区再編でいくのか、あるいはお金を使うのか、極端な話どちらかになると思います。それがこの前最後に示された案だと明確になっていないような案でしたので。

高野教育部長 これが教育委員会の案としての最終案だという話なのですが、これが最終ですか、というとそうでもない。あくまでもこの段階で私たちが持っている案ということで捉えていただければ。最終ではないです。

清水委員 これは、学区再編をしてなぜ仮設校舎を建てるのか、それだったら再編の範囲を広げればいいのではないのかということもあり得るのに、それはなぜ考えなかったのかというのを教えていただきたいと思います。  
結局仮設校舎を建てるのであれば、あえて今児童がいっぱい通っている地域が八木原小に移らなくてもいいのではと思うのは、住んでいる人は当然の意見で、私だってそう思うわけです。新しい校舎を南小に造るのであれば、な

んであそこに私たちは行けないの、と当然子どもは思うわけです。その辺の説明をこれでは絶対できないですし、もう教室がないですよ、ほんとにもう建てないし、特別教室もそのままですよ、というのであれば、まあしょうがないかなという気持ちにもなります。

あとはこの前、前委員だった千代田中の方も仰っていましたが、特別教室がないとかですね校庭が狭いというのは、子どもたちにとってどうなのかということすごい仰っていて、そう考えると仮設校舎を建てちゃったらそこがどうなのか、という辺りもあって、そうならないように学区再編という案が出ているはずなのに、仮設校舎を建てたのに学区再編をするのか、というのが誰が見ても納得しないのでは、というのが正直なところですよ。

水野会長 以前説明を受けた時に、10年後には今の倍の生徒数になるという話が出ていて、倍になったらとても生徒は収容しきれないし、もう教育環境もとても大変なことになるだろうという予想。生徒を収容しきれなくなってしまうと悪影響を受けると。確かに清水委員さんが仰ったように、南小の学区の将来の様子を見てみますと、この前もお話がありましたけれどもマンションが展開されているとかいうのをちらっと聞きました。もしそうになると学区になるだろうと思われるその生徒は増える時はどんと増えるけれども、増えないことも考えられるし、見込み通りに売れなかったらそういう場合もあるかと思われるから、あくまでも予想は予想なので必要ないところもあるし、そういうのを考えると最初から分けちゃった方がいいけれども、今度は南小がいつべんに児童数が少なくなっちゃうというようなことも考えられますね。

清水委員 おそらく今日の段階である程度決めておきたい、というのは私の意見ですけど、そういう風にお金をかけて教室とかを建てて増やすのか、あるいはそうじゃなくて学区再編するのか、学区再編をする地域は今日限定しなくてもいいと思いますが、もねの里1丁目～6丁目であるとかは今日決めずに、学区再編を本当にやってお金をかけないし校舎の環境を最優先するのか、あるいはお金をかけてでも今のところでもう特別教室がなくなろうが何しようが子どもが行きたい学校に行ってもらおうようにする方向なのか、というのを決めておいた方が今日の段階では良いのでは。その方が今後の見通しが立てやすいですし、それに向けた案や意見を絞りやすいのではと思いますが、いかがでしょうか。

水野会長 委員の皆さまどうでしょう。もし絞り込むのでしたら絞っていいのですが、最初に私が言ったように、もし意見が出尽くしていないのにそのままいって

しまったら、よくないと思うのですが。審議するかしないかは確かに筋をどっちにするかで見えてしまう。細かいことは後ほどにして、審議をするかしないか、もし絞ると本当に絞られてしまうので。

梅山委員

やっぱり意見を言うのはちょっと怖いですね。でも何でも出していいとのことと感想を。本当に先だつての会議の中で、最初私は南小学校に教室が足りなくなるという時点では、そんなに深刻なことだと思わなかったと言ったらおかしいですけど、八木原小に空き教室がたくさんあるのだからいいじゃないの、という感じでここへ来ました。意見を聴いている中でいろいろな意見があるなと思いましたが、その中で角井先生が最後に、いろいろな経験をしてきて、教室がなくてプレハブの中での暑くて寒い生活が自分としてはあまり好ましくなかった、というような意見を言った時に、早急に意見を出すのは心配なことかなという風にちょっと思いました。それに私は千代田中の全部の地区を多少は知っていますけど、この地図にある通り完璧にわからないところがありますね。もねの里1丁目と2丁目の一部・茶屋の作・栗山の一部が学区編制、もしあった時に候補として載っていますけれども、もねの里が分断されることを自治会長さんはこだわらないのか、あるいは、茶屋の作はどうか、それと栗山はどうか、学区編制の個々に関しては後からでいいと言いましたが、その数がどのくらいなのか見えてこない膨大なもねの里3丁目に関する情報も、今聞いたばかりですと先が見えない感じもします。

学区編制で意見を一番聞いているのがもねの里2丁目ですよ。じゃあ茶屋の作とかそちらはどうかかなという時に、そんなに意見が聞かれない段階で、もねの里2丁目の意見が大事なのだろうなと思いますし、もねの里に私が知っている人がいるんですけど、27年度に1年生になると言っていますから、早く方針を決めてほしい。どっちでもいいから自分の子がどこに行くのだろうか、というのをやっぱり早く決めていただかないと不安でしょうがない、という感じで言っていましたので、いろいろな意見があるし、今会長さんが仰ったように、結論じゃなくて心配なこととかをもっと出した方がいいのではと思います。ここでも見る通りこの地図の中で私1回目でも言いましたが、地図で内黒田という凄く広い部分が何年か前までは南小学校だったんですね。それが八木原小学校区になる時にそんなに問題もなくさらっといつていること、本当は問題があったのかもしれませんが、でもそういうこともあったというのも聞いています。個々の希望と、あるいは年度別に移って行って、最終的に南小学校に私の知っている小学校1年生が入ったら、内

黒田から1人だったと。そうしたら入学式が終わってすぐに八木原小に転入をして。入学式の時には名前が載っていたかなと思います。個々のご家庭では一つ一つそういうのをクリアしていたのではないかなと思います。じゃあこれをどうするかなという時に角井先生が仰った、プレハブであるとか特別教室も何にもなくなっちゃうであるとか、そういう生活よりも...というのが少し印象に残っています。感想です。

久保木副会長 前に学区審議会を開いた時、確か5～6年くらい前かなと思いますが、栗山の付近、内黒田の付近は確かに南小でした。それと栗山も中央小に入るとか、そういうモヤモヤした地帯だったんです。それで検討をして選択肢を設けようとなりました。このお子さんにどっちが近くてどこへ行きたいか家族を含めて選択をさせて、入る時にどこの学校に行きます、と自由選択にしたんです。素直にすーっと流れていっちゃった感じですよ。特に問題は起きませんでした。

心配だったことは何にも知らない中で決められて、心配でしたが、案外スムーズに行き過ぎたかな、という感じですね。だから、いろいろなことを心配する部分はあるけれども、心配事をうまく解消しながら編制方法を考えていかなければ。いずれにしても南小にはこれからははっきり言って入れない。10年後にはもうパンクしていますからね、間違いなく。それならもっと早めに手を打ってどんな風にやったらいいのか、ということは今の人たちで検討してほしい。さっき言ったように、どっちにいくか早く決めてほしいという気持ちもやっぱりあるとは思いますが。そういうことも総合的に皆さんに。私なんかは子どもが大きくなっているけど、小さい子どもを持っている人は一番心配だろうし、お子さんが上にいて下はまだ小学校に上がっていない人の気持ちもわかる。だからその辺を見つめて皆さんで検討すれば何か良い道が開けるのではないかと、いう気がします。

あんまり形式ばって話をすると先に進まないの、ざっくばらんに思ったことを言ってしまえば良いと思います。それで皆さんで検討して進めていくと、良い方向に行くという気がします。限られた時間ですから、しっかり皆さんで話し合っ、現在小さいお子さんがいる方に特に気持ちをはっきり言ってもらって、その希望に沿えるようにやれる会であってほしいなと思います。それと、どこで分断するか、いずれは分断しなくてはいけないとわかっているわけですから、どんな風にするかもここで二通りに分けてうまくやればスムーズにいく気がします。

野本委員 今回からこの審議会に参加させていただく野本と言います。資料を先にいた



だいていて、ざっと目を通してこの会に参加させていただきますが、最初の案の特別教室を普通教室に変えて学ばせる、というのは親の安心からいくと、南小学校という近いところに入れてそこで勉強してもらえるのなら良いと思うかもしれませんが、お子さんの立場としては、やっぱり特別教室というのはワクワク感がものすごくあって、私の子どもの頃なんかは家庭科室にしても理科室にしても、今だとパソコンとかをいろいろ習うので、そういう教室があるということ自体がすごく楽しいことだと思います。そういうものを、皆ここに行けばいいから、ということできなくしてしまうというのは、ナシではないかなと。

あと仮設教室というのは、ここまで我慢したら次に新しいものが建つ、というのだったらなんとなく子どもも我慢するかもしれないけど、そうじゃなく仮設にずっと、エアコンも設備して云々と書いてはありましたけれど、新しいものを準備して前段階として今ここで我慢する、というのはちょっとモチベーションもあるかもしれないけど、ずっと仮物にいなきゃいけない、となったらちょっと可哀想な気がします。

学区編制というのは、私は大日小学校区で子どもたちを育てて、高校生と中学生がいましたけれど片道2.2kmを歩かせていました。四街道は割と生活道路がないじゃないですか。すごく大きい学区でものすごい区間を子どもたちが2人ないしは3人で歩いて行っていた。やっぱり親はものすごく心配で、結構高学年になっても送り迎えしていました。けども、長距離を歩いて帰ってきたということに対する子どもたちに、危ないというだけの点じゃなくて、そういう危ない中を登下校している子どもたちを見守ってくれる大人たちの視線とか、そういうのも感じながら登校していましたし、結構良い点もあったんじゃないかなと私は思います。

荒井委員

八木原小のPTA会長ですが、前回出席できませんでしたが受け入れる側の学校のPTA会長としてお訊きします。南小で今回合併の範囲の対象になっている方で、何をこんなに、どこが一番問題として残りたいという風になっているのかなというのが、ちょっと気になるところです。現状を見るとデータでも南小はパンクするのがもう目に見えていて、八木原小は減る一方で、今でも余っているのに更に余る可能性の教室がある。同じ市内であって、税金だって皆のものですから、いかに使うか考えた時に、ただそれだけを考えれば八木原小に行くのは当然だと思います。確かに兄弟がいて、片や南小、片や八木原小、というのはいろいろな面で不便です。ただそれがない親御さん、お子さんだったら普通に行っても全然問題ないと思います。ましてや南小と八木原小は幼稚園も同じ幼稚園に通っている子がほとんどで、クラブチーム

も南小単体チーム、八木原小単体チームというのはほぼないに等しくて、どんな競技であっても大体合同でやっているわけです。今年からは千代田学区は小中一貫教育のモデル地域にもなっているし、今年の7月には合同で通学合宿などをやるなど、南小だ八木原小だと対抗意識的にやることはまずないと思います。参加はしていないですけれども、漏れ聞いたのが該当する地域の方が仮に八木原小に行くと八木原小でいじめられる心配がある、という噂があるという風に聞きました。先程も言われましたけれども、内黒田の地域で南小から八木原小に来まして、その時を知っている親御さんから、消防団でつてがあったのでその時はどうだったとお話を聞いたところ、確かにいじめは小学校ですから多少あったが、南小から八木原小に転校してきたことについていじめられたことは子どもから一つも聞いていない、というお話がありました。いじめが八木原小でゼロとは僕は言いきれませんし、僕の子どもも加害者であり被害者にもなっている経験があるので、普通は小学校だといじめの一つや二つは絶対あると思います。一番問題になっているのは、子どもよりまず親御さんのそういう問題なのかなというのが正直あります。八木原小に行ったらいじめられる、というのを穿った目で、返す言葉で言いますと、該当している方たちが仮に正当な理由もなく、ただ感情論ですっとこの状態を続けていると、逆に南小の方が不満にならないかなという気がします。先程も言いましたように、特別教室を潰して感情論だけでそこに人を残すとすると、新しく入ってきた人たちからすると自分の子どもたちの権利がちょっと阻まれるわけです。言っては悪いですが、どいてくれればそこで特別教室をわが子に与えられるものを、この人たちを受け入れたがために、私たちの子どもたちの特別教室が潰されちゃうんだと。でも八木原小の教室は余っているわけで、逆に来てくれた方が学校としての形がちゃんと成り立つという状態。

今八木原小は限界地域を何地区か抱えているので、子どもはこれから飛び抜けて増えるだとかは絶対ないと思います。そういう時に、市全体として考えても南小・八木原小というスペースをうまく皆でシェアするという観点でも、今回お父さんお母さんたちもちょっと考えていただけたらいいのではないかな、という気がします。PTAの立場からすると、今回入っていただけのなら、来年からでも、なんだったら今年からでもどんどん増えてくれて、会員は多くなった方がいろいろな活動がしやすいので、受け入れる側からすると突っぱねる理由が一つもないです。もう来てくれさえすればいい、くらいの感じです。あとは、南小の該当地域の方にいかに納得していただけるか、ではないかなと思います。

お子さんも正直チームメイトがいる学校で、実は幼稚園で仲が良かったのに

南小と八木原小があったために仲良しが引き裂かれたという例があり、僕の息子もあった。南小に通っている子の方が、実は八木原小の子よりすごく親しくしていたけれども、学区が違うからということで別れさせられた。該当地域の子もやっぱりそういう子がいて、なんだったら来てくれた方がその子、うちの息子からすれば友人とまた仲良くなれる。だから一概に八木原小に来るのはデメリットばかりの感覚ではないのではないかと。

特別教室云々も仮に潰すという考えでやるのなら、八木原小に作ればいいのでは、と言う気も正直するので、ネガティブな意見ばかりではなく八木原小に行けばこうなるよ、というポジティブな考えももうちょっと皆さんで広げていただけたら違うのかなと。いろいろなことがもっと短いスパンで決まっていっていいと思います。

清水委員

私から、もねの里2丁目自治会長の意見、その立場として挙げさせていただくとですね、親御さんの感情的な部分というのは一番だと思います。それは理由としては以前角井委員からもありましたが、南小は新しいですよ、新しく建てる時にこうなることがわかって建てたはずなのに、なぜこうなっているのか、という不満の感情が一つですよ。あとは学区再編になって話が急にポツッと出てきた教育委員会への不信感という感情論がもう一つ。あと私も男性ですから別に学区再編はそんなにこだわらないのですが、特に女性の方はいろいろ人間関係・付き合い・役員だとかいうのがあって、そういうところで変わるということに対しての不満感がある、という三つだと思います。だから、男性の方がどちらかというと不満感を感じていない人がすごく多いし、お父さん方に話を訊くと、別にいいしそうするのも子どもにとっても勉強でしょう、という方がほとんど。けれども、女性の方は賛成という方はまずいらっしやらないと言って間違いないと思います。以上です。

堀田委員

私はもねの里2丁目の人間で、尚且つ南小PTA役員をやっていますが、そんなにマイナスばかりの件じゃないと思います。清水さんが言われていたこととほとんど同じですけど、一番不安がっているのはやっぱり途中で転校する、というのは正直不安だと思うんです。なのでさっきお話しされた在校生は考えないというので、まだそこはいいんですけども、答えが見えてない状態で噂が錯綜しているので、もしかして今通っている子たちまで急遽、突然学校が変わるのでは、という不安がPTAの中では多かったですね。

もう一つ、兄弟がいて南小で、ゆくゆく入る子が別れちゃう、というのも不安。あとはさっき言われたように新しい校舎、古い校舎も決してないわけじゃないと思いますし、あとは通学方法が違うところ。南小は集団登校で登校

をしているんですね。お兄さんお姉さんについてきてもらって学校に行く。八木原小学校さんは今そうではない。バラバラ登校というか。正直再編されてしまうと、その子たちは今行く南小学校より遠いところにしかも一人で行かなくちゃいけない方や再編対象にならなかった子どもたちは、お兄さんお姉さんに守られながら、また、自分でも守りながら登校するというところに差がついてしまう。更に長い目で見た時に、ゆくゆく入る人たちで正直八木原小さんに行きたくないと思っている人はある意味少なく、初めから八木原小に行きたいという人もいると思うんです。なので通学の不安があるとかその辺りで、今通っている人、その通っている子の兄弟さんがすごく不安がっているだけで、早く再編する年度を決めていつからかが決まって、第一子から八木原小に通います、通学のところのサポートもあります、という風になれば不満に思う方も少ないと思います。

校舎が古いとは言え広くて立派ですし、陸上や音楽もものすごく優秀。でも子どもが小学生に上がってやっとわかることで、まだ上がっていない親御さんの立場からすると一番が外観みたいなものしかわからないと思うので、中でどんなことを熱心にやっているのかとか、そういうのが見えない中でこのことを急に訊くと、えーっという風に思ってしまうのではないかなと思うんです。私もそういう噂を聴いたりしているので、決して八木原小が嫌だとか思っているわけではなく、途中で登校がバラバラになる、というところが一番ネックかなと思います。その先はこれから入る人が八木原小さんの良さを、しっかり入学までに聴いて納得していただければ、そんなに不安や不満は出ないのではないかなと思っています。

先程にもお話がありましたけど、こうです、と決められちゃうんじゃなくて、先程の内黒田みたいに選択できる期間を設けて、ずっとはダメですけど暫定期間みたいなもの、兄弟が絡む方、近所や地域の方と絡む方で選択できる期間を設けてもらう。ただ、人口増加からするといつまでも選択していればほんとにパンクしてしまいますので、パンクしないでいられるまでの暫定期間を設けてもらう。これも勉強、みたいな形になってしまう子もいるのかもしれないですけども、その辺りを少し配慮すればそんなに問題ないと思います。

あと、いじめは私も直接受けたわけではなくて人づてで聞いて、それが広がっているのではないかなと思うんですけども、南小が改装される時に一時八木原小に間借りをしましたよね。あの時に休み時間のグラウンドの使い方、特に決まりはなく多分どちらも使っているはずですが、仮住まいで外に出たら、ここは八木原小の校庭だからと言われ、ああそうなんだ、ということがあったのに尾ひれがついて、それが、自分がいじめられた、みたいになっち

やっているのかなと思います。母親、女性としてはどうしてもちょっと聞くと全部不安に思ってしまうって感情的になっちゃう、という部分があるかと思います。先程言われたみたいにいじめもゼロではないだろうし、それだけじゃないいろいろなこともあるのでしょうけれど、そういう情報が錯綜してしまって余計にマイナスになっている方がいるのだろうと思います。もうちょっと八木原小の情報なり、再編するかしないかなり、きちんと早目に説明があれば、該当する地区の方、これから入る方ももう少し安心できるのではないかなと思います。

水野会長 途中から転校してきた子がいじめられるかという、そうではなかったです。指導の仕方による場所かだと思います。あとは八木原小の校舎のことですけども、外から見ると確かに古いですね。そういう意味では思うところはあるとは思いますが、いつまでもあんまり汚い状態ではないとは思っています。

清水委員 まあそうですね。ここで言うだけであれば、市の方も動くのではないかなと。南小さんから何人か動くとなると、やっぱりそこら辺を踏まえて温情をいろいろかけていただくのもありなのかな、というのもある。

水野委員 まあ確かに外観はいつまでも汚いままではないと思います。

梅山委員 私は千代田団地なんですけれども、ほんとに南小は見学者がたくさんいるほど綺麗ですよ。だから南小に入った人は木造であれだけの、という捨て難いものがあると思うけど、でもやっぱり教室がないという中で小中一貫教育が始まろうとしています、担任の先生方も同じように目標を持ってやると思いますし、堀田さんがご心配しているような集団登校、あるいはいじめに関しても、集団登校は今、八木原小で言えば遠いのは内黒田ぐらいで、あとは団地の中ですから、それぞれで行ってもパトロールの方がいるところですから。南小学校の広大な区域とはまた違った様相がある。学校が変わればそれは運営のやり方でいくらでも改善していけると思うし、いじめはやっぱりあっちゃいけないと思うし、最初から心配していても何も始まらない。八木原小、良いところですよ。

荒井委員 そうですね。いじめの問題に関しましても、うちの子が加害者にもなったんです。ただ、加害者になった時の対応もやっぱり早かったです。僕仕事でだったんですけども、その起こった日、その日にもう電話が来て、こういうこ

とお宅のお子さんが、という対応をしかもその時新任の担任の先生だったにも関わらず、すぐに来たんです。それを見て、ああ、いじめが起こるのも認めているし、いじめがあったことに対して隠ぺいでもなくすぐに、というその早さを感じた。仮に、「変わりました。何かありました。」となっても現状の状態の今の八木原小であれば、そこを解決する術も先生方は持っているのかな、というのはPTA会長としては感じます。

あと一つ、先程距離の問題もあったんですけども、確かにもねの里2丁目辺りだと、南小か八木原小かと言えば、南小が近いと思うんです。ただ、更に先を考えた時に南小を卒業した後に千代田中と考えると、中学校へ行く練習がすぐ同じ距離でできる。そういう風に考えるとそんなに難しいことではないのではないかな。特に2丁目の方からすると逆に八木原小の方が近いんじゃない、という方もいらっしゃると思うんですよね。下手すると通りを挟んでこっちは八木原の人で千代田の人だと、本当はご近所さんなのに学校が違うという状況もあるんですよね。

確かに八木原は汚いです、外観は。でもやっぱり大きいというのは魅力。やっぱり僕なんかは全然気づかなかったんですけども、子どもが1年から6年まで全うして会長にもなってやっとわかったんですけども、あの大きさがあるがゆえにやっぱり運動強いんです。今回、前年ですと陸上競技大会・体操大会、かなり市内でもいい線。体操準優勝。陸上競技大会でも優秀な成績を残した子も生徒の人数差がありますけども、圧倒的に八木原小が多かった。先生たちも熱意がありまして朝練とかも付き合っていて。今、八木原小の卒業生で問題になっているのが、それだけ八木原小で熱心にやった子が中学に行くと熱心にやった種目の部活動がない、というので燃え尽きちゃっている子がいるくらい。体操なんか強いんですけど中学には体操部がない。陸上部でもいい成績を残したけど千代田中には陸上部がない。そういう問題で逆に燃え尽きちゃうくらいやりきる子が多いんですよ。だからそういうのを見ていても、八木原の良いところというのはすごく古いけども広い。今、南小さんを見ていても思うんですけど、綺麗さはどうにでもなる。八木原小もなんとかすれば綺麗にはなる。ただ大きさはやっぱり限界があってどうにもならない、というのを考えるとそれは皆さんにお伝えすると、かなり八木原小の魅力になるのではないかな。教室もまだ、よそに貸したり倉庫にしたりでアレンジはどうにでもききますから。南小さんが間借りできたくらい、まだ充分余っているくらいの感じで使っているんで、こういうところももっとどんどんお伝えしていただきたい。確かにここまでの段階でいろいろと不満を聞いていると、確かに僕も該当者だったので、ちょっと腹立つというのはいっぱいあった。ただ、それはわかるんですけども前向きに考えた時に、

こういう良いところもありますよ、というところを八木原小からするとお伝えしていただきたいなと思います。

そういう意味ではないのですが、一回出てなくてちょっと漏れ聞いた話だと、八木原小が悪者になっている感じで、しかも今回吸収合併ではない。むしろ少なくなる僕らを助けてくれる、くらいの気持ちでいるんですよ。なぜか南小さんはその話になると、八木原小が悪者で邪魔して、来たらいじめでやるぞくらいの気持ちで待ち構えている、みたいなイメージで語られているというのがちょっと残念だなと。どっちかというとな僕らは何だったら早く来い、一日でも早く来てくれという気分です。やっぱり会員数の減少なんかも見えていますと、一時でも早く来てくれたらどんどん人数が増えて、どんどん楽になるのに、というのをすごく感じています。確かにちょっと古いですけども、大きいという魅力がこの場に出ていただいた南小学区の人にはどんどん伝えていただきたい。

清水委員 情報ということに関してはですね、第1回学区審議会以後に八木原小さんからの学校便りをうちの自治会ももらって、南小学校便りと八木原小学校便りを回すようにした。やっぱり未就学の方は正直南小のことすらわからないという方が多いので、やっぱり実際自治会の話合いでも八木原小が運動強いし合唱強いし、という意見も当然出ていて、決してマイナスな面ばかり出ているわけじゃないし、こちら情報も伝達しようという意識はすごくあってですね、それはやっているということを一応お伝えしておきます。別に悪者にしているわけではないですし、良い面が全く伝わってないわけではないです。情報を伝えようという努力はしているということです。

荒井委員 もう一つ教育委員会にお訊きしたいのですが、仮に南小の在校生が八木原小に変わった時に、いろいろ帽子だのなんだの揃えるものが変わるじゃないですか。そういうところでの補填とかいうのはあつたりするんですか。それはないんですか。

久保木副会長 100%ないでしょう。

荒井委員 ないんですか。

堀田委員 南小でも同じような心配、意見がありました。

清水委員 6年生が今在籍している途中から変わるとかそういう風にはならないとは思いますが。

菊地委員 最低1年生の場合は6年間残らなきゃいけない。

久保木副会長 基本的にはそういう考えが一番では。

荒井委員 それはわかんないですけども、僕は噂だけで感じたイメージですけども、今回ちょっと市の失敗は確実にあると思うんですよね。

久保木副会長 でも、例えば2年生になりました。でも八木原小が良いからそっちに行きたい、というのはそれでいいのでは。

荒井委員 ただ、残りたければ残っていいよ、という選択肢をちゃんと与えてくれる確約があるならば良いと思うんです。ただ、ここまで来たらパンクです。やっぱり出てください、となった時僕がその立場だったらそれはちょっと解けません。それこそ新校舎建てる時、南小の昔の会長は2階じゃ間に合わないよと言っているのに2階を建てたわけですから。下の声も聞かずにやってこの状態になったのであるならば、今の人たちが悪いわけではないのもわかります。けれども他で人数をカバーできる校舎を建てるお金を使うと思ったら、買わなければいけなくなった時のフォローが気持ち的にもあっていいんじゃないかと。通常民間でそういうことがあった場合はそれこそ全額どうぞ、となると思うんですよ。そこまでしろとは言わないですけども、校帽なり何なり必要なもので、仮に途中からパンクするからちょっとあっちに変わって、というのがあれば、そういうのもちょっと先んじてこっちが出せば、モヤモヤしている親御さんたちもちょっと冷静になってくれるのかな、という気もするんですよね。確かに今までがないから、ではなくて正直今回の意見を聞いた時に、明らかに市がまるで被らないで、移った人たちがそこに住んだのが悪いよ的な感じにするのはちょっと違うのかな。何人変わるかというのは僕も完全に正確な数字は把握していませんけれども、新入生までやれとは言いません。ただ、在校生が仮に変わるのであれば、それは、希望であっても無理矢理であっても、そこは色つけて出すくらいの感じでもいいのではないかなという気が僕はします。一意見としましては。

水野会長 実はあの、南小学校がこのまま生徒数が増えたら、当然プレハブ校舎しか作れないだろう。まあ教室を作れば生徒が入るところはできるかもしれないけれども、特別教室も例えば第一音楽室、第二音楽室と二つ必要になるのではないかと。そうしなければ音楽の授業ができなくなると。理科室も第二理科室が必要になるのではないかと。そうすると教室もプレハブの教室とプレハブの特別教室も作らなければいけない。



田中委員　　うちは中央小学校ですけれども、今中央小は770人程生徒がいるんですが、今の段階で音楽室二つは中央小にはありませんし、低学年は担任が教えて高学年であれば音楽室を使う、という形をとっていたりするので、それに関しては多分学校側でいろいろ考えてくださると思います。特別教室を人数が増えるから二つずつということはまず考えなくていいのかなと思うんですけど、子どもたちとしては高学年になったら理科室が使える、図工室が使える、音楽室が使える、ということが第一に喜ばしいことなんだと思う。それをなくすのは困るかなと思いますが、増やす必要性はないでしょう。

菊地委員　　皆さん、昔のプレハブのイメージはこう、仮校舎でありますよね。素晴らしいんですね、今のプレハブは。外観も。2年ばかり借りたんですけどもリースで。ちょっと高かったんですけども2億5千万円くらいで2階建て10教室。プレハブというと昔の倉庫的なものを浮かべますがそうじゃなくて、まるっきりの壁使って普通の建物という感じだったんですね。そういうのが今はある。ただ、とんでもない金額で、この中にも書いてありますけれども、10年で1億2〜3千万のリース料を払うわけですよ。年間1千2〜3百万円ずつかかるので、とてつもない感じはしますね。  
八木原小にそのお金がかかる分をね、外装でもいいし内装でもいいしちょっとやれば。高等学校の校舎全部で24教室と廊下なんかをやって外装内装2億くらいでできちゃう。本当に見違えます。立派な作りで耐震も済んでいるので。そういう部分も先程会長が仰ったように、今回使い方次第で有効活用できれば。ただ、市全体の予算がどのくらい今回この学区編制に対してお考えになっているのか。こうやって三つも案があったらなんかいろいろ難しいでしょうけれど、その辺の問題ですよ。四街道市ははっきり言って大きな事業所も少ないし、税収もぼんぼん上がっていくわけではありませんし。大変だと思いますけども、どのくらい持ってくれるかもこういう改修にはかなり影響している部分じゃないかなと思います。

梅山委員　　お話がだいぶ学区編制の方に皆傾いているな、という感じが受け取れます。私の受取りが悪いかもしれない。南小学校のPTAの参考資料読むと、こんなはずじゃなかったのよという、新しいところに引っ越してきて、子ども育てながら新しい地区で新しいことが始まるぞ、という時に夢にも思わなかった事態があった。不満というか信頼関係がなくなっている感じが心の中にいっぱい詰まっていると思うんです。でも、今日お話し合いをしていく中で、話せば学区編制もそんなデメリットばかりでないぞということもあるし、3番まで案が出ていて、じゃあ1番の増築、2番の仮設、それは本当にあまりに大変だ

ったら、やっぱり学区編制の方に行こうとか、あるいは自治会で半分に分かれてしまうってことが自治会長さんはどうお考えなんだろうと私も思ってしまっただけど、これは、学区編制でもし変わっても問題ないでしょうか。

清水委員 いろいろ大変なことは想定されますけれど、まあそれはしょうがないかなと。

梅山委員 自治会長さんがこうお返事しているから、それに関しては大丈夫ってことですね。

水野会長 実は私の方では旭ヶ丘なんですけれども、旭小学校と山梨小学校と二つですけど、自治会がどうのこうのというのはありません。

田中委員 似たようなお話になるんですけど、私は緑ヶ丘に住んでおまして、中央小学校なんです。それで尚且つ広いので大日小学校と四街道小学校と3校に分かれているんですが、子ども会をやった場合、私、去年子ども会の会長をやったんですけど、3校合同で区と一緒に夏祭りをしたりしますので、決して難しいことではないと思います。離れたからと言って別に難しいことではないし、その学区の中で完璧に線引きをしてしまう、この地区はこの学校、この学校という風にしてしまうと、ちょっと辛いのかもしれないので、最初何年間という猶予を与えて、選択をさせた形で持っていった方が、多分親御さんたちも気が楽なのかなという気がします。

長谷川委員 選択肢というお話で、私は物井駅の佐倉側の市境に住んでいるんですけども、教育委員会さんへ子どもが小学校に上がる時山王小の方に行けないか、ということで、地図を見ていただければわかるんですけども、はるかに南小より近いですね。4分の1くらいの距離です。やはり市が違うということで認めてもらえなかったのですが、できれば市をまたいでも選択できるような通学、将来的にも考えていただけるような。でもそれはもうありえないということで。もう私は小学生がいないので中学校は千代田の方へ自転車で行っていますけども、結局小学校も2kmと遠く、中学校も3kmと遠く、そこに住んだのが悪いでしょと言われればそれまでなんです。なのでこの八木原にも南にも近いところでどちらかと揉めていらっしゃる方はちょっとうらやましい悩みでもあります。もうちょっと広い視点で見ていただけると。こうやって端から来ている子もいるよというような。

久保木副会長 確かに四街道は佐倉市と千葉市と隣接になっているんですね。例えば吉岡

小学校なんか51号挟んだ向こう側なわけですね。まったくの千葉市ですね。でもあれは四街道市なんですよね。それでゴトゴトしている部分でのがあるんですよ、実際問題。PTAの関係なんかも含めて。でも四街道市の中だから四街道。そういう自覚をしてもらわないと。境界線で本当はそっちが近いのに何でこっちに行かなければいけないのと。市は越えられないですよ。

長谷川委員 でも万が一、先程駅前にマンションができて急に子どもが増えたという場合は考えざるを得ない事態になるのでしょうか。どう考えても仮設校舎を建てても特別教室を改装してもどうやっても足りなくなる時期がやってきて、尚更マンションの人口が増えた場合には...その時くらいにならないと考えていただけないんだなという気がしています。

菊地委員 鷹の台がやっぱりそうですよね。中学校は千葉に行けるようになったじゃないですか。旭中まで行くのも大変ですもの。

梅山委員 今、学区編制の中で出た意見はとて面白い意見だけど、今それを考えてしまうとどうしようもありませんので、それはまたゆくゆく考えていけばいいこと。とりあえずの問題はやっぱり三つの選択肢の中で、1番2番は本当にダメなら削る作業をここでした方が良いと思います。久保木さんは増築に関わる委員さんもしていたとのことで、ここにいても辛いこともあるんでしょうけど、南小学校のお隣の畑がうんと空いていたらいいと思いましたがよ。今度も増築も、もしかしたらできるんじゃないかと思っていたら家が建ち始めちゃいましたもんね。何であんな選択がされちゃうんだろうこの時期に、と思うこともありますよね。あそこがずっと空いていれば何教室かお金はかかるだろうけどもできるだろうなと思った。俗に私たち地域の人としてはね。でもあの時は南小学校はあの学校で良いと思った選択が、今こうなっている。仮設をじゃあどこに作るかと言っても...

久保木副会長 場所は当然グラウンド。それで狭くなる。

菊地委員 意見ではプールを潰して、なんてのも出てましたよね。

堀田委員 プールの意見は、結局年間5回しかプールに入らせてもらえなく、昨年度は故障か何かで一応5回入りました。でもたった5回しかあるかないかヒヤヒヤするような状態のプールを残すくらいなら、途中で引き離される子どもたちを残せるようにしてほしい。あとはちょっとみそらのプールが近いというものもあるので、もしかしたら歩きは厳しいにしても年間5回ならバスとか借

りて通えないかな。その場所に皆さん八木原小が嫌とかじゃなくて、南小に愛校心ができちゃっていますから。そこにそのまま通いたいと思うと何とかして、という気になってしまう。子どもに対して5回使ったつきりずっと使わないままあるくらいならば、という意見。あと学校の池があるんですけど正門の方に。池を潰したらどうかという意見が出たんですけど、消防上、池は残したほうがいいんですよ。

久保木副会長 いや、大丈夫ですよ。あのくらいの池で消防活動はできませんから。

菊地委員 ただ、プールの貯水が消防になっている。

久保木委員 池をつぶして建てると西と東になり、南には建たないですね。

堀田委員 旧校舎と同じで3階建にすると6教室くらいできませんかね。

久保木委員 無理でしょう。幅が足りないでしょう。

堀田委員 確かに校庭が狭くなりますね。今でも100m程走路は斜めで、その先に体育倉庫があって、ぶつかりはしないでしょうけれど、ぶつかりそうなものがあるところに向かって走っている状況で、全力疾走ができるか、練習の質みたいなものがどうかと。それで更に仮校舎が建ってしまうともっと狭くなってしまう。保護者の中でも不安があります。狭くするのは嫌なんですけれど、在校生と兄弟にはですね。新しく住む方、これから越してくる方は今の八木原小さんの良いところなどお話すれば、むしろそちらに行きたくなると思います。もう南小に入っている子達の愛校心・愛着というのは、なかなか拭いきれない。それも全部線引きしてしまうと、誰かが仰ったみたいに、何年間か南小通ったけど、八木原小に移りたい、という方ももしかしたらいるかもしれないので、暫定の選択期間なものを設けて再編をします、というような方法を持っていけば、再編反対という方ばかりではないと思います。こういうような話し合いを保護者とか地域の方を交えてもっと話ができると、噂だけが先行しないでできると思うので、説明会を小学校等で開いていただいたんですが、なかなかそこでは八木原小さんの良いところとか、そういうことはお話しされなかったもので、そういうことも交えた、もう少し砕けたと言ったら変ですけど、説明会なり話し合いが行われていけば、少しは誤解とか心配とかも減っていくんじゃないかなと、この話し合いにいて私も思いました。

菊地委員 開発会社とかにも早く知らせるべきだと思うんです。これから入ってくる方のためにも。学区が決まっていることになると、そのまま南小だという感じになる。4回で決めないといけないわけですよ。

水野会長 目途が4回。3回目が7月あたりに予定。まだ決まってないと思うんですけど、その辺りには案を出す。学区を分けるかどうか。もし仮設校舎を建てるのであれば、お金もかかってくるものですから、予算の問題も出てくる。予算を組むためには、その時期ある程度指針・案を出してもらわないということ聞いています。

菊地委員 9～10月は補正予算ですかね。

長谷川委員 私、素人でよくわからないのですが、物井地区の販売戸数が、29年度まで数字が出ているのですけれど、こういう場に不動産業者なり住宅販売業者なりを呼んで話を聞くということはできないのでしょうか。

久保木副会長 29年度ですか。

長谷川委員 29年度までに300という数字が出ている。もう少し販売を遅らせるというか。

久保木副会長 おそらく500人くらいが今南小に行っている。学校の先生、教員数がもう入らない。子どもが増えたら先生も増やさないといけない。

長谷川委員 今の南小の規模でこれ以上子どもが入らないというのであれば、これだけの販売を少し遅らせるというのはできないか。

水野会長 もし私が不動産屋だったら、自分はもうお金払っているわけですから、できれば早く回収したいと思います。

荒井委員 今在校している方というのは、それこそさっきの母校愛というか、そういうのに時間をかけなければいけないと思います。でもこれから転校してくる人に対しては早く指針を出した方が、今年長さんのお子さんを持っている、来年どっち行くの、という人とかには、もうそれこそ来年にでももう決めてあげれば、じっくり在校している方々に対しての話を、4回で終わらないなら5～6回とやってもいいのかと思います。それを分けた方がいいのかなと。在校もやりながら、まだ入っていない人の気持ちもごっちゃにしちゃうから、進めるものも進まない。まだ待たなきゃいけない人を急がせなければいけない。

ちょっとそこを分けて考えて、とりあえず今いない人はどうするかと先に決めた方がいいのでは。

菊地委員 決めやすいですね。南小も今在校生の保護者会をメインで考えていくことが第一。

荒井委員 そこをあんまり急いでやってしまうよりは、入っていない人なら母校愛もないはずなので、まずそっちをやった方がいいんじゃないかなど。そうやってどんどん人数を減らせていけば、プレハブを造るにしても、この人数は八木原小に行ったので消えたということになれば、予算をつけるにしても規模が変わっていく。そうすれば、建築とか販売を止めるまでいかなくても、もうそれこそ言ってさえくれれば、南小5分ですと書きましたけど、八木原小10分です、と振り替えてもらえば。

久保木副会長 ちょっと先が明るくなってきましたね。

清水委員 また近々、地域に向けて説明会とかを思うんですけども、例えばもねの里2丁目が学区再編地区だと載ってしまうと、在校生が反応すると思うんです。学区再編します、という方向性になったとしても、この地区とこの地区、というのは絶対最初の段階では明記するべきではない。先程仰った母校愛はない地域からという選択肢だってあるわけですから、その辺は伝え方を工夫すれば絶対納得する方はいらっしゃると思う。もし最終的に学区再編という方向になって、説明会を5月終わり...でいいんですかね。

長谷委員 はっきりとした線が出なければ7月の学区審議会後になるのではないかなど。

高野教育部長 次回、7月とのことですが、その時にはかなり形も見えてくると思いますので、はっきりしてからの方がいいです。前回と同じような説明しかできませんから、3回目の後がいいでしょう。

清水委員 今の中途半端な段階では、この地域が学区再編の地域ですと知らせるべきではない。あともう一点、直接南小学校区に住んでいない方でも、今回はやっぱり市の落ち度があるだろうと思っているので、市がちゃんと謝るべきだろうと思います。説明会で1回も謝罪の言葉がないというのはまずいと思います。

久保木副会長 その件を言われてしまうと、南小を建てる時も審議の役員でしたが、決まったことについて何年か先まで考えていたのかとよく言われるが、最初から3階建てにすべきだと言われていた。3丁目の一画に建てる予定だった。そうしたら高圧線の下だから子どもが危険だとなって、その敷地がもらえなかった。それで今の場所でどういう風に建てましょうか、といういろいろな意見が出た。学校関係者・父兄の方々の意見もずいぶん皆聴いた。あるもの全部聴き入れようとした。でも結局は四街道市のお金がないことが出てきて、3階建てで更に膨らむと予算がとて入りきらない。どこかで我慢しないといけなくなってしまった。本当はすごく憤慨した。だから3階建てにしていたらこんなことにならなかったじゃないかと今でも思います。5~6年前の話ですが、目に見えてわかっていた。でもそれはもう仕方がないと感じ取って、今は謝りも何もないではなく、そういう時代の流れに入ってしまったんだと。そういう気持ちでお願いしたい。

清水委員 仰りたいことはわかるんですけど、ただ、南小に通えるから何千万という家を買いましたという人たちにとっては、せめて一言でもあれば、多少違うのに説明会でそれが一言もないというのは、これから先、良い案を出したところで、また変な目で見られちゃうんじゃないかという気がします。今の方たちが決して悪いわけではないのはもちろんよくわかっているし、いろいろな経緯があったのはわかっているけれども、多分謝罪の一言があるだけで、スーッとなってもう一度じゃあいい方法考えましょうか、となるんじゃないかなっていうのは正直あります。かなり私もいろいろなことを言われました。最終的には教育委員会さんから、我々の見当違いでしたすみませんでした、と言ってもらえば、全て収まることなんじゃないかなということすら思ってしまう。

水野会長 今、私たちの立場としては、昔がどうのというよりこれから、10年先のことがわかっていたのに何やってたんだと言われないように、しっかり話をして結論を出したい。

古川委員 経緯を説明していただくというのはやってもらった方がいいのでは。

久保木副会長 そうですね。当初建てる時に、こんなことでこうなったんだ、というのを説明してあげるといっても、今の人たちはわからない人がほとんどですからね。

水野会長 ただあくまで予想ですので、予想違いがあるかもしれないのはしょうがないですよ。

古川委員 でも千代田団地が造成されて、八木原小ができる時に一回あったわけですよ。かなり人数が増えて、また何年後かには生徒数が減っていくという経緯を一度、市は経験しているわけですよ。何年間は増えるけれど、その後また減っていくというその経緯を今回の方に言う必要があると思うんですよ。そういうのも併せて今どっちに行くにしても、何年後かにはまた減少方向に行くんだということも、もう少し見解があるといいのかなと思います。

荒井委員 あると思うんですよ。PTA 会長会に出ているんですけども、その時に配られて言われているのが、千代田団地の限界集落ぶり。今は千代田です、次は池花来ます、次は多分もねの里でしょうと。今の世代の年がある程度上がってきた時に、その下の世代が残るか、と言ったらどうでしょうね、というのを千代田・池花の順番で見せられているので、もねの里も間違いなく日本のいろいろな考え方が変わらない限りは、今買ったお父さん世代が定年を越えた辺りには、子どもたちはまた別のところへ行くと思うんですよ。そうすると、こういう南小か八木原小かという問題が絶対あると思うんですよ。それも聞いているので、八木原が大きいのに余らせていて、南小が母校愛というのわかるんですが、全部を考えたときに、南小の人も八木原小の人も四街道市民でしょう。校舎を建てる、何をする、全部お金は四街道市皆の税金ですよと言った時に、確かに母校を去るのは僕たちが該当者だったら同じくらい悲しい気持ちになるかもしれないけれど、そこも考えてもっとデータを出した方が良いでしょう。南小から八木原小に移った場合のメリット・デメリットももっと出すべきじゃないかなと。

古川委員 仮校舎を造らずに、学区編制をするという計画をするならば、仮校舎を造らない分の費用を八木原小にどれくらいかけられるのかも、ある程度見えてこないと何とも説明がつかないかなと。多目的室を改修し、仮設校舎を増設した場合に、子どもたちの学校で暮らす空間がかなり減ってくるということで、衛生的に摩擦が増えるだろうし、何もないフリーのスペースがあるからこそ、600人の子どもたちがそんなに摩擦もなく、健やかに過ごせるんですけど、かなりこれを見ると衝突も増えるだろうなと想定されるので、増えた場合の人数とこの校舎の環境でメンタルへの影響はないのかということも調べられないのかと思います。カウンセラーからのコメントとか、そうしたら親御さんも反応を示せるのでは。



- 田中委員 それはそうなんですけれど、学区編制はしょうがないけど、うちは変わりたくない、という親御さんが絶対いますね。
- 古川委員 そうなんですけど、その気持ちも先程もありましたがどうして、というところのその気持ちへの返答ができるような解決策を作っておかないと。
- 水野会長 先程では移行期間・選択期間という案が出ましたね。それは学区編制をするかしないかが決まり次第ですかね。まあ大体そんな意見が多そうですね。結論はまだなので。
- 荒井委員 アンケートでも、南小で該当される方のアンケートが多く見られる。逆に残った方のアンケート、リアルな気持ちというのをもっと出してもいいのかなと。正直、残りました、狭くなります、それでも仲良くできますか、とか。お宅のお子さんの教育環境は、若干悪化します、でも友達を守れます、これに耐えられますか、とか。正直これは冗談抜きでリアルだと思うんですよ。やっぱり一人の親として自分の子の教育環境を守る、ただそれが逆になった時に、今はまだパンクしていないから味方でいてくれる人が、パンクになった状況の時にあなたは本当に味方でいるのか、という意見がないと、味方よねと思って戦っていた人が、いざパンクになった時に敵にひっくり返っちゃうような悲しいことがあると思うんですね。逆に誤解だという部分もあるんですけども、八木原小を遠く見ていた人が、いや八木原小の方が何も考えてないよ、そんな悪意とか責める気は更々ないよ、というこのギャップも多分知らないと思うんですよね、該当者は。正直、南小にいればそのままでいられる、という感覚があるからこそその反対意見なんじゃないですかね。でもそこにいることによって、たまたま運で該当者になってしまったがために、悪者にされる可能性もある。ない訳じゃないんだよ、というのをどこかに書いてあったかなと。だから、僕が正直早く来ていただいた方がいいなと思うのは、八木原のプラスもあるんですけども、せっかく学区編制で仲間になれるんだったら、傷を負う前に仲間になってほしいなというのも、正直あるんですよね。今だったら本当にこっちもウェルカムですけど、トラブルがあった時に、今でこそ審議会で収まっている話が外に漏れた時に、八木原小のこと、あんなこと言っていた奴らだよと言えば、八木原小にとっても敵になってしまう。残ったら残ったで、残った人たちからの不満、うちの子たちの邪魔をして、となった時にそれこそ可哀想。だからこそ僕はできれば早い方がいいのかなと。早い方がと言っても猶予もつけてやって、パッと進めた方が傷は少なくて済むのかなという気はするんですけどね。

清水委員

多分、学区再編の対象になっていないところは、対象になっているところが途中で出ていけば教室広くなるから、私たちラッキーだわという感覚でいると思いますし、比較的そんなようなニュアンスのコメントも一つ二つありましたので、だから正直なところ直接関係ないところはそんな感じですね。対象となっている人たちが出ていけばいいじゃないかと。だから一番困っているのは、対象として名前を挙げられちゃっているもねの里2丁目は本当に今困っていて、どっちつかずですよ。こっちに残れば文句言われる、あっちに行ったら行ったで、もしかしたら何かあるんじゃないか、という不安。その点、置かれている環境が本当に厳しいということをごすね、理解していただきたいのは本当あります。

どちらかといえば、もう方向をバツと決めてですね。学区再編でいきます、ただ、そこでまた何丁目です、と言われちゃうとそれは問題なので、学区再編でいきましょう、ただし地域はまだ明記しません、という形を出してもらえば、こちらとしては、まだ安心するというか。そうすればもしかしたら何丁目が再編になるかもしれないんだよ、本当にちゃんと考えてよ、と言えるけど、今はもう他人事ですね。

堀田委員

同じ状況なんですけれど、このアンケートもちよつと長いんですけど、ちらほら教室が狭くなる、特別教室潰れると困る、校庭狭くなるの嫌だ、と意見があります。アンケート集めた中で強制の回収じゃないですので、50何%か出てはいますけど、どちらかという、おそらく該当に当たらない地域の方は未回答か回収できていないんですね。ある意味無関心というか。自分には関係ないみたいと思われちゃっているところがあります。だから再編の噂が先行したドタバタで、できれば本当は広い環境が良い、という意見を言ってしまうとあれかな、というところでアンケートに控えていて、どちらかという再編しないで、みたいなことが多くなっちゃっているかなと思います。多分そういう人もいます。さっき清水さんが言われたように、再編するしないは早く決めてあげても該当地区が今の時点で断定できないのであれば、明記しないでもらいたい。本当に2丁目の子どもたちがものすごく辛いんです。

清水委員

学区再編しますよという方向性を出した時には、地区まで明記しないで出す期間があった方が、より皆もう一度考えるんじゃないかな、ということですね。そうすれば我々2丁目の住民としても、あ、一步手前に戻ってくれたんだという、教育委員会が譲歩してくれたんだ、という信頼感が多少根付く。それで最終的には2丁目になっちゃったんだ、というならその経緯をちゃんと説明すればいい訳だし、今はもう教育委員会の言いなりでダーっと進められ

ているところがある。我々が声を上げたから一步手前に戻ったよ、という形がもしあればですね、それだけでもう、声を上げればわかってくれるのかな、教育委員会が考えてくれているのかな、という気持ちにはなりますよね。だから、もしかしたら3~6丁目、他の地域が対象となるかもしれないんだ、というような状態を一度作ってもらった方が、よりちゃんとしたスタートラインに立てるんじゃないか。そういう気持ちでいます。だから正直、八木原小さんのことも、別に悪く思っている人は少ないのかもしれないけど、どうしてもそういう立場に置かれちゃえば、八木原小さんのことをどうしても敵にしてしまう。悪く思っている訳じゃないけど、追い詰められちゃえばそうなっちゃう、というところですよ。

荒井委員

僕もどっちかという、その意味も踏まえてネガティブなものを持っているならば解消したいなど。内黒田の再編の時に絡んだ人が言っていたのが、できたら猶予があった方がいいけれど、粒でポンポンと行くよりは、ある程度まとまった人数がポンッと行った方が、今クラスも少ないですから、1クラスに対する転校した子の人数が多い方が、よりいじめには遭いにくい。一人で入っちゃうよりは、3人、4人の仲間がいた方がまだ楽なんじゃないか、ということも言っていました。そういう点でも、猶予はあるけどある程度のスピードも必要だし、でも言ったように順序をつけて、自治会長さんの意見とかも踏まえた上で、早く順を踏んでやった方がいいのかな、という気はしますね。

水野会長

今、大体意見出てきましたけども、まず再編するかしないか、ということについて決定をしていきたいと思えます。その後でどうするかというのを、再編をどういう風に持っていくかということで、話を進めていきたいと思えます。それが出れば委員会の方も保護者を集めて説明もある程度できるんじゃないかなど。学区についてはまだ審議している最中だと、そんな風に委員会の方としても言えるのではないかなど。実際まだ私たちは出せない。次の第3回目で、託された学区編制をするかしないかという、それを決めてみたいと思えます。その後、どう持っていくか、というようなことでやってみたいと思えますが、いかかでしょうか。

清水委員

資料の公開をする、ということの前回の最後に仰っていてですね、議事録はホームページに載せたと思うんですけど、配布された資料も、資料に関しては、ホームページで公開予定です、というのは議事録に載っていて、ただ配布された資料は公開されていないんじゃないかなと思うんですけども。

長谷委員 教育委員会のホームページに公開されています。

堀田委員 終わるところで申し訳ないのですが、PTAの役員会などで今回の話があった時に、何か報告をすべきではないかと思うのですが。審議中なので報告は止めた方が良いですか。

水野会長 まだ学区編制するかしらないかも決まっています。

堀田委員 まだするかしらないかも決まっていない、第3回目で決まる、でよろしいですか。

水野会長 皆さんからのいろいろな意見が出たことはホームページに載せますので、そちらは言っていただいても結構です。

堀田委員 大まかな方向性も第3回目で決まるのであれば、教育委員会さんからの保護者や地域への説明もその後、ということでもよろしいですか。この会が出た、南小がどうしてあの校舎で建ったのかの経緯や、八木原小さんの素晴らしさの話などをどこかで皆さんに聴いていただくチャンス、というのは作れないでしょうか。保護者の立場としては、まだ決まらないの、7月まで待たなければならぬという不安が募る。逆に、7月にその辺りも踏まえて話していただけるのでしょうか。秋に説明会をやったように全体には何の説明もないので。皆さんおとなしめというか穏やかな方が多いのでPTAの方に何か言ってくるということはないんですけども、該当する人、しない人でも、候補になると聴いた時に不安や心配などいろいろな話を聴く。お話を聴いたり話し合ったりするチャンスをもらえるといいなど。

水野委員 今の途中では何も言えない。言ってもまた一人歩きになってしまう。

堀田委員 すると、3回目の後の説明で、再編された時のメリットなりもしていただける、ということ報告すればいいですかね。

高野教育部長 いろいろな話の中で触れることもあると思います。

水野会長 先程もありましたけど、この会でのことはホームページに掲載されますので、細かなことはそちらを見ていただくということで。以上で第2回目の学区審議会を終わりにしたいと思います。また7月に連絡が行きますのでよろしく

お願いします。

中嶋学務課長 以上をもちまして、平成26年度第1回学区審議会を終了いたします。

会議録署名人 水野 和年

会議録署名人 久保木 利雄